

細田衆院議長が辞任表明

統一協会・セクハラ問題 不誠実な回答

細田博之衆院議長は13日、議長公邸で記者会見し、体調不良を理由に議長を辞任すると表明しました。会見では、細田氏をめぐる統一協会（世界平和統一家庭連合）との癒着やセクハラ疑惑などの問題について質問が相次ぎましたが、「問題ない」「諱なるわざだ」などと不誠実な回答に終始しました。

統一協会との関係について問われた細田氏は、「問題があったと言つてはいるが、そんな問題はない」と発

言。統一協会関連の会合に過去8回出席したこと改めて認めたのも「特別な関係はない。呼ばれれば出る」という程度だとして、反省や責任を語りませんでした。

週刊誌で報じられたセクハラ疑惑については、「これまで誰ひとり具体的にこういうセクハラがあったと誰う人はいない。単なるうわざと思っていて」と否定し、被書者の訴えがないことを重ねて強調。記者から「セクハラは上下関係があつ

て、(被書者が)なかなか書い出せないものだといふ認識を持つても、『やらしい』と問われるほど、「覚えてがないこと

「まだ議員としての活動はできると思ってる。頑張ってみたい」と意欲を示しました。

次期衆院選の立候補の考え方については、

「まだ議員としての活動はできると思ってる。頑張ってみたい」と意欲を示しました。

をあつたよ」と言つた

とは、男性に対するハラスメントだと述べました。

議長として説明果たせ

会見打ち切り 抗議相次ぐ